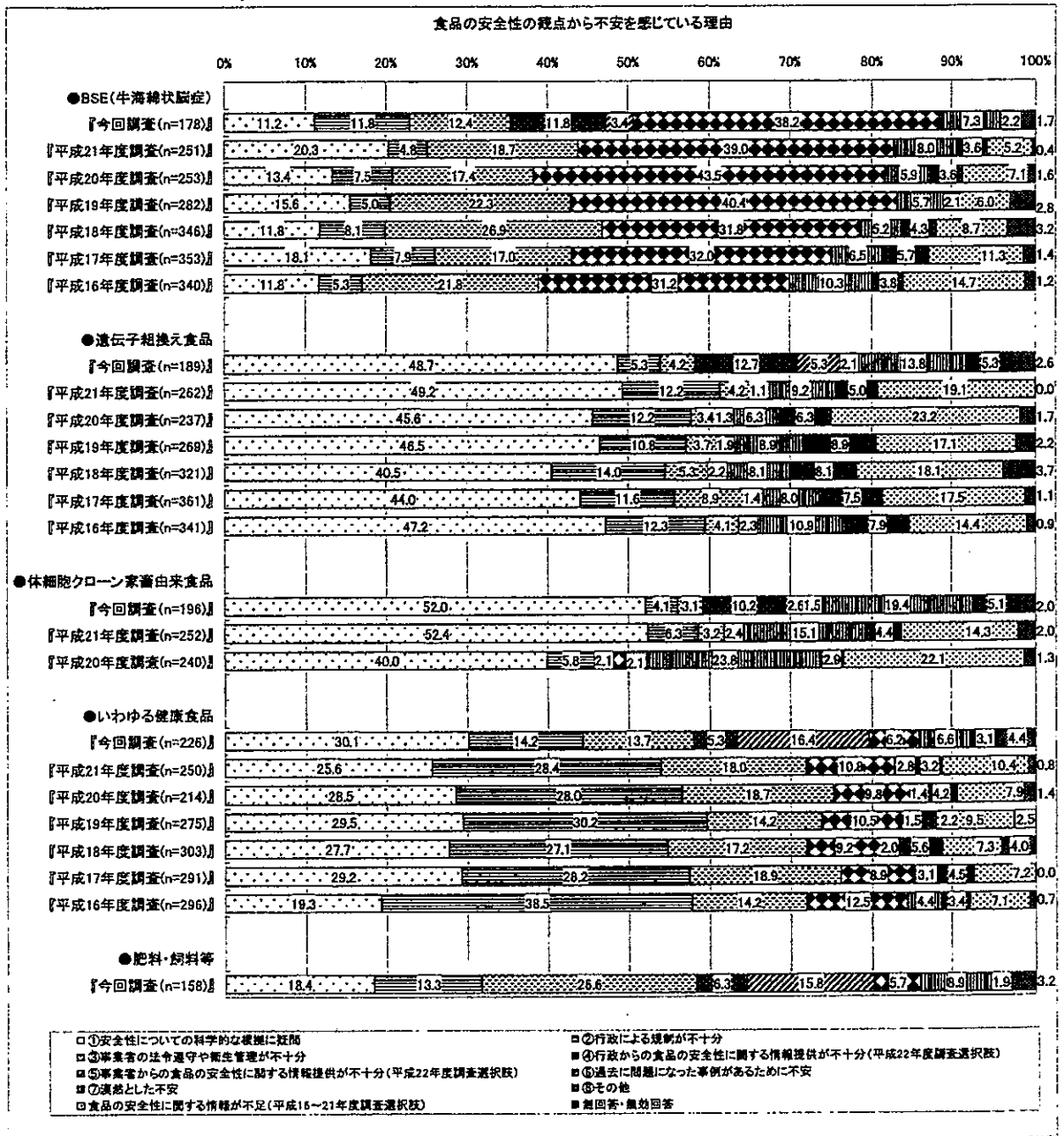


食に安全性に関する意識等についての結果〔平成22年8月実施〕 別添7

(食品安全委員会 食品安全モニター課題報告)

(抜粋)



問2において11の事項について「非常に不安である」又は「ある程度不安である」を選んだ事項の不安を感じる理由として、7個の選択肢以外の理由を挙げた回答者数と記述内容は以下のとおりであった。

- ⑨ (1) 食品添加物に不安を感じている主な理由 (回答者数 24名)
 複合摂取時の影響/蓄積による影響が不明/疾病との相互作用が不明/事業者の法令遵守/輸入品に不安を感じる/消費者の認識・知識不足/人工甘味料・天然甘味料の人間の五感等への影響/
- (2) 農薬に不安を感じている主な理由 (回答者数 23名)
 輸入農作物や輸入冷凍野菜に不安を感じる/行政による規制や事業者の法令遵守に対する不安/消

費者の認識・知識不足／一化合物の安全性は保証されていても複数化合物の安全性が不明／10年前、20年前に使用した薬物の土壌の蓄積に対する不安／

(3) 家畜用抗生物質に不安を感じている主な理由 (回答者数 13名)

家畜用抗生物質に関する知識の不足／輸入品の不安／家畜用抗生物質の残留に対する不安／人体影響への不安／多量投与の不安／行政が把握していない物質の使用／河川への流出により耐性菌が作られる懸念／

(4) 器具・容器包装からの溶出化学物質に不安を感じている主な理由 (回答者数 10名)

輸入品に対する不安／複合摂取時の影響がわからない／推測されていない事象の可能性／

(5) 汚染物質 (カドミウム、メチル水銀等) に不安を感じている主な理由 (回答者数 18名)

輸入品に不安を感じる／魚類や人への蓄積／毒性が強いため／被害が大きいため／

(6) 有害微生物 (細菌・ウイルス) による食中毒等に不安を感じている主な理由 (回答者数 33名)

誰にでも起こりうることで完全には防げない／新種や未知の細菌・ウイルスの存在／食中毒に対する意識の低さ／抗生物質と新型ウイルスのバランスが崩れると心配／環境変化による影響で以前とはまた違う状況になっているのではないかと思うから／

(7) BSE (牛海綿状脳症) に不安を感じている主な理由 (回答者数 4名)

輸入品に対する不安／たとえ可能性がほとんどないとしても致命的な事例であるから／

(8) 遺伝子組換え食品に不安を感じている主な理由 (回答者数 10名)

遺伝子組換え食品を人が20~30年継続して食べたデータがない／データが不十分／将来の影響が不明／自然界には存在しない未知の存在であり不安／知識・勉強不足／

(9) 体細胞クローン家畜由来食品に不安を感じている主な理由 (回答者数 10名)

体細胞クローン家畜由来食品を人が20~30年継続して食べたデータがない／クローン家畜が始まってまだ年月が浅い／将来の影響が不明／自然界には存在しない未知の存在であり不安／対象家畜に死産が多いなど問題があるから／知識・勉強不足／

(10) いわゆる健康食品に不安を感じている主な理由 (回答者数 6名)

大量摂取／過剰摂取の安全性の情報が不足した過大広告／有効性の根拠が乏しく多くの食品や薬との相互作用の説明が不十分／

(11) 肥料・飼料等に不安を感じている主な理由 (回答者数 3名)

情報に対する信用性に乏しい／農産物や畜産物に及ぶ影響についてあまり知られていない／